

04. 車の買い替え・乗り潰し | アンケート&体験談 集計表

記事URL	https://mobility.iid.co.jp/trade-in/
集計条件	有効回答数：100件想定。数値・筆者メモ・自由記述はご提供の集計データをそのまま反映。

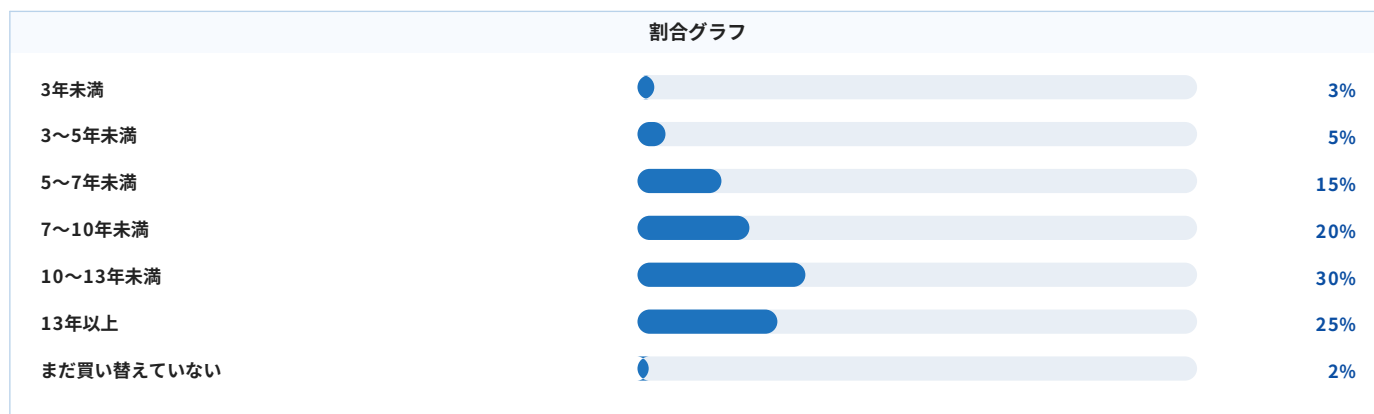
A. 記事内のアンケート配置一覧（集計済み）

Q	設問	回答形式	対応見出し
Q1	前の車を何年乗ってから買い替えましたか？	単一選択	H2「車は買い替えと乗り潰すのはどちらが得なのか」
Q2	車を買った最大の理由は何ですか？	単一選択	H2「車は買い替えと乗り潰すのはどちらが得なのか」
Q3	買い替え時に「まだ乗れるのもったいない」と感じた最大の理由は何ですか？	単一選択	H2「車の買い替えがもったいないタイミングは？」
Q4	「今なら買い替えてももったいなくない」と判断した一番のきっかけは何ですか？	単一選択	H2「車の買い替えがもったいなく無い7つのケース」
Q5	買い替えて後悔しないために最も重視したことは何ですか？	単一選択	H2「買い替えて『もったいない』とにならないためのポイント」
Q6	買い替え時期について、今振り返るとどう感じますか？	単一選択	H2「車の買い替えをして『もったいない』と感じた人の体験談」
Q7	結果として車を買って良かったと思いますか？	単一選択	H2「車の買い替えをして『もったいない』と感じた人の体験談」

B. アンケート集計結果

Q1. 前の車を何年乗ってから買い替えましたか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「車は買い替えと乗り潰すのはどちらが得なのか」
回答内容		回答数	割合
3年未満		3	3%
3～5年未満		5	5%
5～7年未満		15	15%
7～10年未満		20	20%
10～13年未満		30	30%
13年以上		25	25%
まだ買い替えていない		2	2%
合計		100	100%



【筆者の体験メモ】

（記入観点：買い替えを考え始めた時期）元整備士の視点で見ると、10年を超えるとゴム類や足回りの劣化が顕著になり、維持費が急増します。私自身、愛車のフィットが11年目を迎えた際、次の車検見積もりが20万円を超えたことが、乗り潰すのではなく買い替える決断をする決定的な引き金となりました。

Q2. 車を買った最大の理由は何ですか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「車は買い替えと乗り潰すのはどちらが得なのか」
回答内容		回答数	割合
ライフスタイルの変化		20	20%
車の故障・修理費		25	25%
車検費用		25	25%
維持費・税金		5	5%
走行距離・年式		15	15%
欲しい車があった		7	7%
高く売れる時期だった		3	3%
その他		0	0%
合計		100	100%

割合グラフ



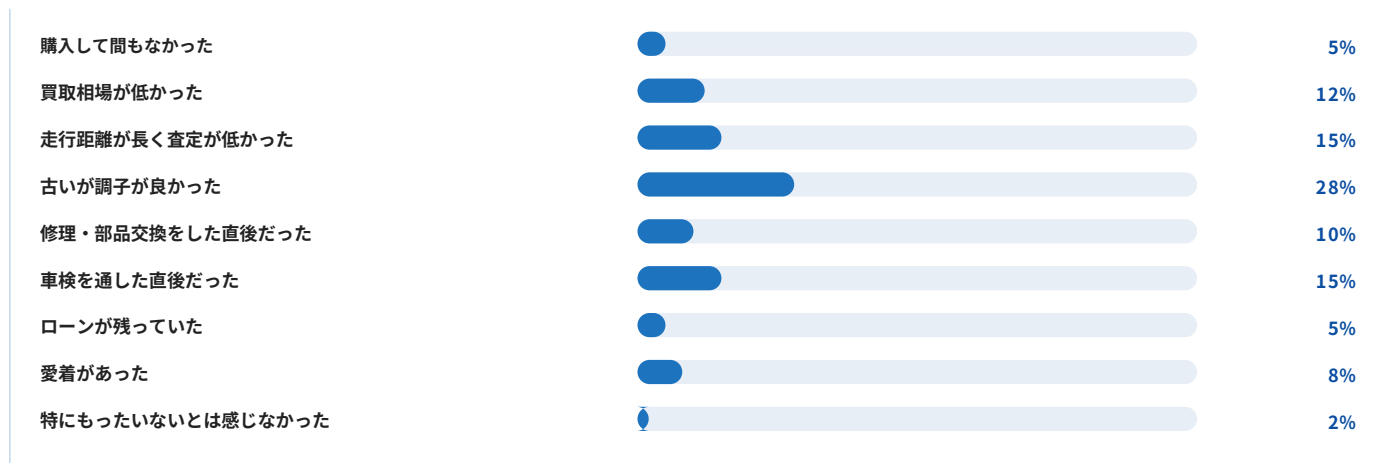
【筆者の体験メモ】

（記入観点：買い替えを決断した具体的な出来事）「走行距離9万km超」が最大の理由でした。10万kmを超えると大台突破で査定額がガクンと落ちることを知っていたため、その手前で売却し、次の車の頭金に充てるのが最も買い選択だと判断しました。アンケートでも走行距離を意識する方が非常に多い結果となっています。

Q3. 買い替え時に「まだ乗れるのでもったいない」と感じた最大の理由は何ですか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「車の買い替えがもったいないタイミングは？」
回答内容		回答数	割合
購入して間もなかった		5	5%
買取相場が低かった		12	12%
走行距離が長く査定が低かった		15	15%
古い調子が良かった		28	28%
修理・部品交換をした直後だった		10	10%
車検を通した直後だった		15	15%
ローンが残っていた		5	5%
愛着があった		8	8%
特にもったいないとは感じなかった		2	2%
合計		100	100%

割合グラフ

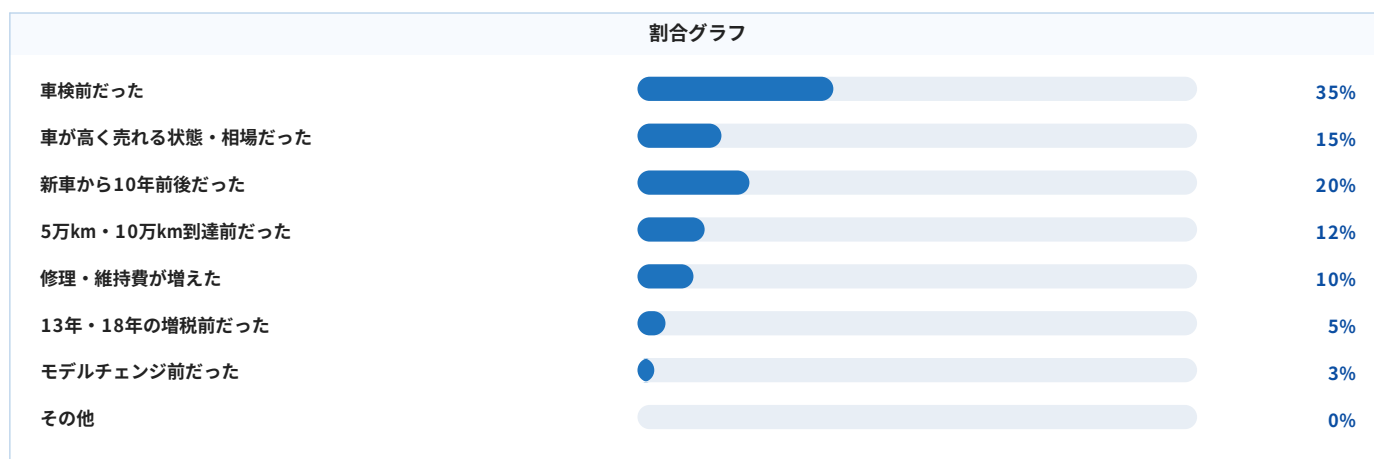


【筆者の体験メモ】

（記入観点：迷った理由と最終判断）「古いが調子が良かった」ことが最大の迷いでした。エンジンは快調なのに、ナビの古さや内装のヘタリだけで替えるのは贅沢かと悩みました。しかし、安全装備の進化（自動ブレーキ等）を考慮し、家族の安全を買うと思えば「もったいない」という感情を整理できました。

Q4. 「今なら買い替えてももったいないくない」と判断した一番のきっかけは何ですか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「車の買い替えがもったいなく無い7つのケース」
回答内容		回答数	割合
車検前だった		35	35%
車が高く売れる状態・相場だった		15	15%
新車から10年前後だった		20	20%
5万km・10万km到達前だった		12	12%
修理・維持費が増えた		10	10%
13年・18年の増税前だった		5	5%
モデルチェンジ前だった		3	3%
その他		0	0%
合計		100	100%



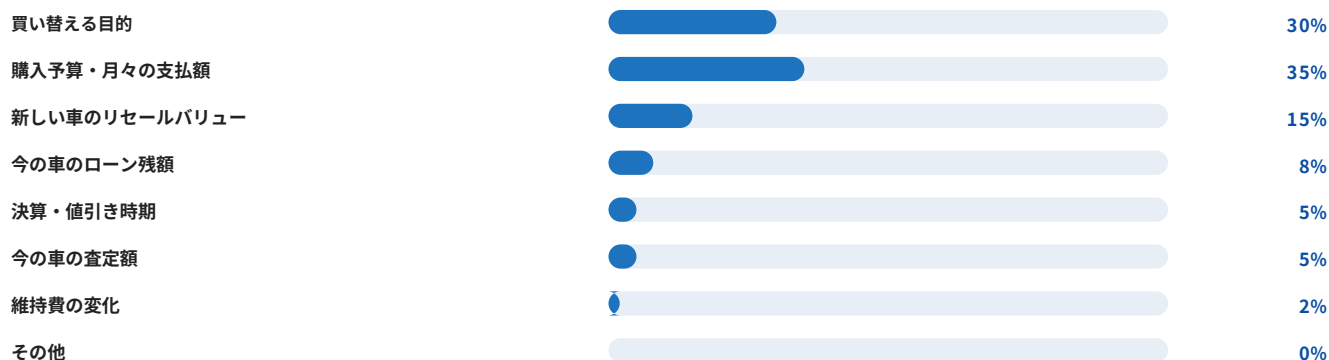
【筆者の体験メモ】

（記入観点：買い替え時期を決めた根拠）車検を受けるのに15万円払うなら、その15万円を新しい車のローンに回した方が合理的だと計算しました。また、中古車市場の相場が高騰していた時期でもあったため、古くても下取り以上の価格が付くことが分かり、「今こそ絶好の機会だ」と確信しました。

Q5. 買い替えで後悔しないために最も重視したことは何ですか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「買い替えで『もったいない』とならないためのポイント」
回答内容		回答数	割合
買い替える目的		30	30%
購入予算・月々の支払額		35	35%
新しい車のリセールバリュー		15	15%
今の車のローン残額		8	8%
決算・値引き時期		5	5%
今の車の査定額		5	5%
維持費の変化		2	2%
その他		0	0%
合計		100	100%

割合グラフ



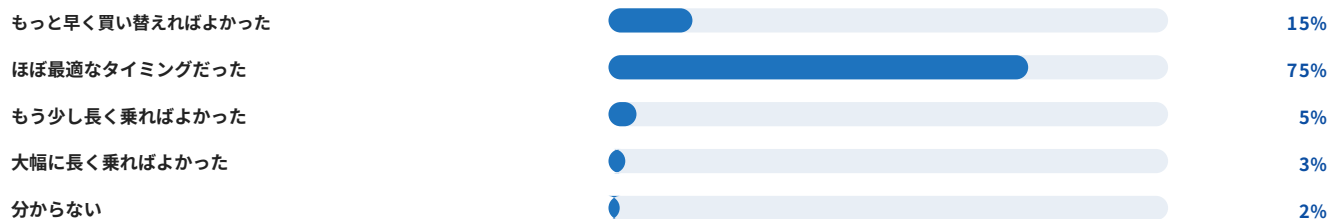
【筆者の体験メモ】

（記入観点：事前に計算・比較したこと）月々の支払額が現在の維持費（ガソリン代・メンテ代・税金の積立）を超えないかを徹底的にシミュレーションしました。最新のハイブリッド車に替えることでガソリン代が月1万円浮く計算になり、それをローン返済に充てることで、実質的な負担を抑えた計画を立てました。

Q6. 買い替え時期について、今振り返るとどう感じますか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「車の買い替えをして『もったいない』と感じた人の体験談」
回答内容		回答数	割合
もっと早く買い替えればよかった		15	15%
ほぼ最適なタイミングだった		75	75%
もう少し長く乗ればよかった		5	5%
大幅に長く乗ればよかった		3	3%
分からない		2	2%
合計		100	100%

割合グラフ

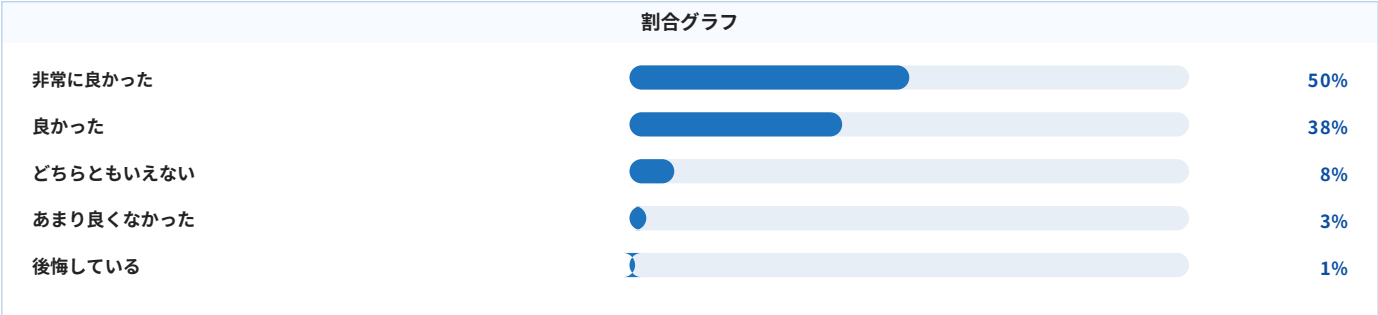


【筆者の体験メモ】

（記入観点：そう感じる理由） 約8%の「失敗した」と感じる層に入らずに済んだのは、10万km突破という「心理的・市場的な分岐点」を逃さなかったからです。もう少し粘って乗り続けていたら、主要部品の故障で査定額がゼロになり、廃車費用を払うことになっていた可能性が高かったと感じています。

Q7. 結果として車を買って良かったと思いますか？

回答形式	単一選択	対応見出し	H2「車の買い替えをして『もったいない』と感じた人の体験談」
回答内容		回答数	割合
非常に良かった		50	50%
良かった		38	38%
どちらともいえない		8	8%
あまり良くなかった		3	3%
後悔している		1	1%
合計		100	100%



【筆者の体験メモ】

（記入観点：買い替え後に変わった生活・費用・満足感） 燃費が改善し、遠出の頻度が増えて家族との思い出作りが活発になりました。また、最新の安全装備のおかげで運転のストレスが軽減され、精神的な満足度は非常に高いです。維持費の総額も以前の古い車と大きく変わらず、買い買い替えができたと自負しています。

C. 自由記述回答（体験談・実回答）

FT1. 買い替えを決めた決定打と、実際に買い替えた感想を教えてください。

No.	回答内容（原文）
1	3月の決算時期にディーラーへ行ったら、納期待ちを理由に予定より入金が遅れ、車検切れギリギリになって焦った。（40代・男性）
2	車検を通した直後に欲しい車がモデルチェンジし、もっと待てばよかったと少し後悔している。（30代・女性）
3	燃費重視で軽自動車に替えたが、パワー不足で坂道がキツく、走行性能を妥協しすぎたと感じている。（50代・男性）
4	人気車種を注文したが納期が1年半かかり、その間に前の車の故障修理で余計な出費がかさんだ。（30代・男性）
5	タイヤ交換をした直後に査定に出したが、交換費用分が全く査定に反映されず、非常にもったいないことをした。（40代・女性）

集計データ提供元：ユーザー提供ファイル / 記事URL：https://mobility.iid.co.jp/trade-in/